【作文中学生の部】

特選　　米山中学校３年　鈴木怜奈「感謝の一滴」

入選　　米山中学校３年　伊藤美織「当たり前と思っちゃダメ」

感謝の一滴

水山中学校三年　鈴木　怜奈

私は、水道を何げなく普段から使っていますが、どのようにして届けられているのか、水道水がどのくらいの国で飲まれているのかなど分からないが多くあるということに、ふと思い当たり、そこで資料を使い調べてみました。

最初に、どのようにして水道水が届けられているのか調べてみました。ダムや湖にためられた水は取水設備から取り入れられ、取り入れた水は道水管を通って浄水場に運ばれます。水道水はいつでも使えるよう配水池でためておき配水管を通って家庭に届けられます。

ということが調べると分かってきました。小学校では実際に浄水場へ行き、水をどのようにしてきれいにしているのかは分かりましたが、配水池でいったんためてから家庭へ運ばれていくということは調べて初めて分かりました。

20×20

次に、水道水がどのくらいの国で飲まれているのか調べてみました。世界では水道水をそのまま飲んでいる国は少ないようです。私は蛇口をひねって水を飲んでいますがそのような国が少ないということに驚きました。

私たちが生きていくよで欠かせない水ですが、今ある問題が起こっています。それは汚染です。そもそも水質汚染の原因は大きく分けて三つあります。

一つ目は、産業排水です。工業や農業などが流す産業排水。かつて水俣病やイタイイタイ病などの公害病は、産業排水に含まれる有害物質が原因ともされていました。水質汚染が社会問題となってからは、排水処理方法や制度の改善が進み、公害病の患者は減少しつあります。しかし汚濁物質が溜まりやすい閉鎖された水域では、水質の改善が思うように進んでおらず、大きな課題となっています。

二つ目は、生活排水です。かつては産業排水が水質汚染の主な要因でしたが、規制や対

策が進んでいる現在では、生活排水がより大きな要因となっています。生活排水とは、台所、トイレ、お風呂など私たちが日常生活で使った水のことです。そのうちトイレの水を除いたものを生活雑排水といいます。私たち一人一日に出す生活排水のうち、生活雑排水の汚れは全体の約六十七パーセントを占めています。汚染特に台所の汚れが多くを占めています。生態系は破壊されて私たち人間の健康にも影響を与えてしまいます。

三つ目は、気候変動です。産業排水や生活排水に加えて近年急増している水温上昇や豪雨といった気候変動も水質汚染の原因ともいわれています。水温上昇はこれも社会問題である地球温暖化が原因であると思います。このように今ある社会問題同士でもさまざまな部分で関係しているところがあると思いました。

今私たちはきれいな水を毎日不自由なく飲めていますが、六億六千三百人もの人々が、

安心して飲める水が身近になく、池や川、湖整備されていない井戸などから水を汲んでいます。その半数近くが、サハラ以南のアフリカ諸国に集中しています。多くの途上国では水汲みは子どもたちの仕事でサハラ以南のアフリカ諸国だけで三百三十人を超える子どもたちが水の重さに耐えながら、遠い道のりを歩き続けています。疲れ果てた子どもたちには学校に通う時間も体力も残されていません。しかし生きるために汲んできた汚れた水を飲むしかありません。汲んできた水の多くには泥や細菌、動物のふん尿などが混じっていたとても危険な水です。毎日約八百人もの子どもが汚れた水や不衛生な環境が原因で命を落としています。自分の二とに置き換えてみたら、想像するだけでとても苦しくて痛くて怖くなります。そのような状況である今を、少しでも良くするために私たちはどのようなことをしていかなければならないのでしょう。

食事や飲み物は必要な分だけつくり、飲み

20×20

きれる分だけ注ぐ。

また、お米のとぎ汁は植木の水やりにする。養分を含んでいるので良い肥料になります。そして、水きり袋と三角コーナーを利用して野菜の切りくずなど細かいごみを流さない。など自分たちが出来ることはたくさんあります。一人一人の意識、行動を変えることで水質汚染を防ぐことが出来ます。一人一人が自分の生活を見直し水質汚染防止に努めれば、大きな変化が可能ではないでしょうか。

私は、家や学校、色々な施設に水道があるということや安全で安心な水を飲めているということに感謝すべきだと気付きました。蛇口をひねって水が出てその水を飲める。普段の当たり前な行動ですが、それが当たり前だという認識に陥らないよう多くの人たちに知ってもらい、それをさまざまな場面で発信出来るような人間になりたいと思いました。

20×20

当たり前と思ってちゃダメ

米山中学校三年　伊藤美織

私たちが、毎日当たり前のように使っている水ですが、水の大切さについて考えたことがある人は、どれだけいるのでしょうか。

水は、「育てる」「飲む」「洗う」ことができます。

「育てる」というのは、植物や人間を含む生き物たちを育てるということです。植物にとは、植えるとき、枯れそうな時に水をかけるはずです。すると、植物たちの生命力により、どんどん生長していき、たり、生き返ったりできるのです。人間も同じように、喉が乾いた時や、熱い時、水を飲んだり浴びたりします。

また、料理をする時も必要です。何かをゆでる時、ゆでたものを冷ます時など色々な場面で使っています。

「飲む」というのは、そのままの意味で喉が乾いた時、喉を潤さないといけない時、料理に取り入れるということです。場合によって

は、水を飲んで、または、飲ませて人を救う、命をつなげることができます。

「洗う」というのは、料理で使う食材を「洗う」時、この世でとても大切な手を「洗う」時、体や頭、顔を「洗う」時、服を「洗う」時など、たくさんのことに必要です。

みなさんが普段、当たり前のように使っている水ですが、世界各地には、当たり前にきれいな水を飲めない人がたくさんいます。

以前、東日本や熊本で大地震がありました。その時、ライフラインがストップしてしまいました。人間が生きる上で最も大切なのは水です。人間は数日水を飲まないと死んでしまいます。その大切な水について普段から私達は何も考えずに使っている気がします。

海外の国では、水の値段は高いそうです。また、水道から出る水は不衛生でそのまま飲むことのできる国は、かなり少ないそうです。

そう思うと私達が普段何げなく使う水について

て、もう少し意識して使わなければ申し訳ない気がします。

水道の栓をひねれば、いつでもきれいな水が出てきます。私達の生命を保っていくために、飲み水や食べ物から体に取り入れる水は一日あたり一、二リットルほどです。しかし、私達の家庭で使う水は一日一人あたり約二百五十リットルと百倍以上の量となっています。それだけの量の水を、私達は一日で使っているのです。その水は、川へと流され、その後、浄水場へと運ばれています。浄水場の仕事は、川から取り入れた水をきれいにして、安全な飲み水をつくることです。私も小学四年の頃に学校の授業で浄水場見学へ行ったことがあります。すごく広くて大きな所にをためていて水をきれいにしていることが分かりました。ここで飲み水が作られているのだと、感動したことを覚えています。しかし、その時の私は、これが実は、とても特別なことなのだとは気づきませんでした。その後

、授業やニュースなどで世の中のことを知ってはじめて、私達の生活はとても幸せなのだと分かりました。

そもそも、山の水源から流れる水はとてもきれいなのですが、その水をよごす原因にはどんなことがあるのでしょうか。水をよごす原因は人間の暮らしなのです。川や湖のよごれは、雨で土砂が流れ込むなど自然の原因もありますが、多くは人間が営むさまざまな活動が原因になっています。家庭排水の中では、台所からの排水が五十五パーセントと最も多く、次は、お風呂で三十パーセント、洗濯十三パーセントなどで私達が生活している上でたくさんの水をよごしています。

これらの生活排水のよごれとは、洗剤成分や油などが多くの部分を占めます。汗をかく季節には、洗濯の回数が増えます。私は中学生なので、自分で洗濯をしますが、使う洗剤についてよごさないような成分で作られているものを選んで使うようにしようと

思います。私一人だけが頑張っても、そんな
に影響は出てこないと思いますが、しかし、
一か月で七千五百リットル、一年では九万
リットル、つまり九トンの水をきれいにす
ることは可能です。
これからも、きれいでおいしい水を飲む
ために、川をまずきれいにすることが大切だと
思います。ゴミを捨てたりせず、もし落ちて
いたら積極的に拾うなど一人一人が水の大切
さに気づいていくことが大切だと思います。

身近な川、豊かな水を守る活動に、私の未
来が懸かっているのではないでしょうか。

20×20